奮闘記11





9月1日(水)、12日(日)、26日(日) 活動日

見渡せば前も後ろもススキの原野「うわ~!」なんと!驚きから始まった活動。遊休地解消の担い手になれるだろうか?…不安の船出でもあったが、助け合い励ましあってなんとかこの夏の猛暑を

乗りきった (隊員17名)。猛暑の中での草刈り・キキスの株おこしは想像を絶する…終生 忘れ得ない体験をした。

キンモクセイの香りが漂いだした高山地区・秋本番。真夏を乗りきった自信、余裕か!日焼けした顔から笑みがこぼれた。棚田の真ん中に立っていると活動の光りが見えてくる。

右近の綿は期待以上の花を咲かせ実をつけ白い綿が吹き出している。試みの作付けが背丈以上に成長、高山の気候・風土・土壌に適した作物である。痩せ地の方がよく実をつけることが分かった。ソバの花も見事に開花、こだわりのソバ道場でソバに舌鼓もそう遠くはない…のどが鳴るね。

小さな畦であるが、全てが試みの作付けだ。オクラ・ブロッコリー・カリーフラワー・小松菜・ダイコン・枝豆・ゴーヤ・キャベツは上々の

生育。真夏の水やりは隊員の輪番制できめた、そのご褒美として畑から健康野菜を自由に持って帰れる。おかめ・ひょっとこ顔の、愛嬌たっぷりな野菜に五臓六腑は満足げ。水やりもまた楽しい~。



見てくださいこの出来を!さら地なので虫もつかず完全無農薬でここまでできました。枝豆に泡のたつ冷たいものがほしくなる…。ブロッコリー、キャベツも素直に育つ。









田の刈り草燃やしは棚田保全に欠くことのできない大切な作業です

水を掛け完全消火確認 O K

遊休地解消の担い手見習い中!草刈り機五台はフル稼働。正念が入る作業がつづきます…。草刈り→かき寄せ→田の刈り草燃やし→消火(鎮火)は細心の注意を払う。